

新大橋周辺ぶらり探訪



第2話 初代新大橋にまつわる歴史探訪(その2)

参考資料：内田兼四郎編著「松江大橋物語」

大正3年(1914年)に開通した初代新大橋は、松江駅周辺と橋北を繋ぐ産業大橋として活躍していました。

また、昭和6年の東本町大火では、人々が橋の上へと避難して難を逃れるなど、防災にも役立っていました。この火災をきっかけに、川沿いまで家や蔵が建ち並んでいたところに、現在の柳並木の道路が新設されています。

なお、写真にある初代新大橋は、現在の第2代新大橋より西側に架かっていました。



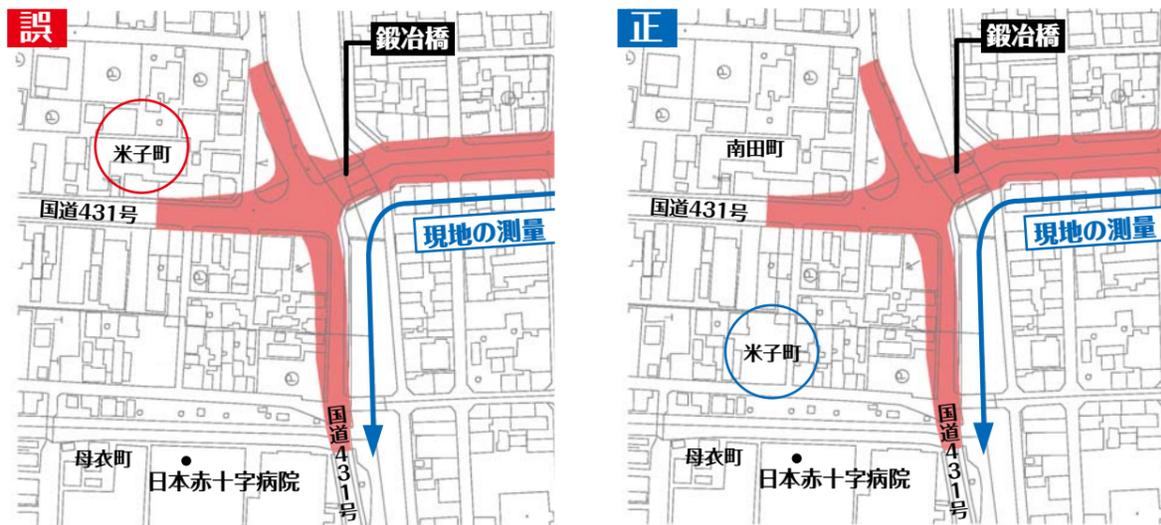
昭和6年5月16日東本町大火の様子(初代新大橋への避難)



大火の翌日の様子(大橋より初代新大橋を望む)

お詫びと訂正

2016年4月発行の「新大橋・鍛冶橋情報かわら版No.2」の見開きページ下方の図におきまして「米子町」の位置記載に過誤がございました。お詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。



お問い合わせ先

島根県松江県土整備事務所
電話 0852(32)5729

島根県都市計画課
電話 0852(22)5699

松江市都市政策課
電話 0852(55)5380

新大橋・鍛冶橋 情報かわら版

No.3
2016.10

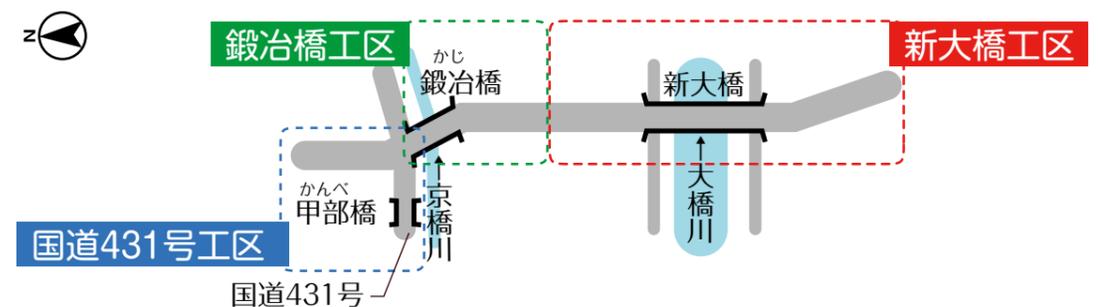
新大橋・鍛冶橋架け替え等に関する地元説明会を開催しました。主なご意見を紹介します。

新大橋および鍛冶橋の架け替え等に関する今後の事業の進め方について、説明会を開催し、沿線自治会の皆さまからご意見やご質問を頂きました。

開催日	地区名
6/18	和多見町
6/19	魚町、白湯本町・本町商店街、八軒屋町
6/21	南田町(その1)
6/22	南田町(その2)
6/23	米子町
6/24	東本町3丁目
6/25	東本町4丁目
6/26	寺町
7/3	伊勢宮町



説明会の様子



新大橋工区について

- 工事中の交通計画をしっかりと検討してほしい
- 架け替えに伴う仮橋の影響範囲はどこまでか知りたい
- 橋の高さと取り付け道路の影響範囲はどこまでか知りたい
- 市民の意見を反映した景観検討を行ってほしい

鍛冶橋工区について

- 工事中は仮橋を架けるのかどうか知りたい
- 交差点の傾斜はどこまで改善されるのか知りたい

国道431号工区について

- 国道431号から鍛冶橋への右折車対策を行い、渋滞を緩和してほしい
- 甲部橋の架け替えを行うのか知りたい
- 現在、歩道がないところには歩道を設置してほしい

その他

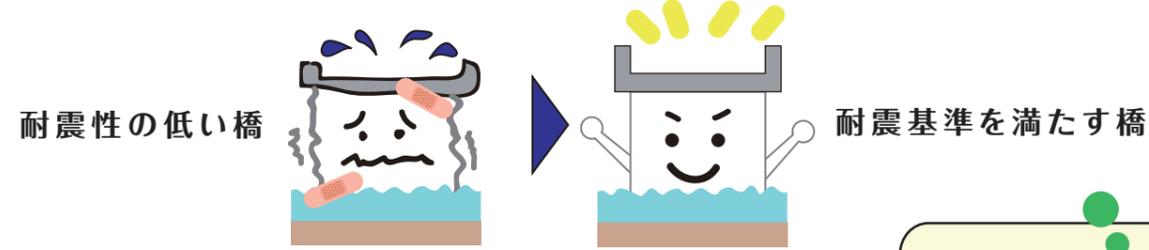
- 背後地の影響範囲はどこまでになるのか知りたい
- 工事中の振動などで家屋に影響を受けた場合、補償対象となるのか知りたい
- 工事はいつ頃から始まるのか知りたい

▶▶▶ これらの項目については、詳細設計の中で検討し、今後お示ししていきます。

新大橋・鍛冶橋架け替えを含む 都市計画道路の整備を進めます

鍛冶橋の架け替えを行います

- 緊急輸送道路であるため、耐震基準を満たす橋へと架け替えます

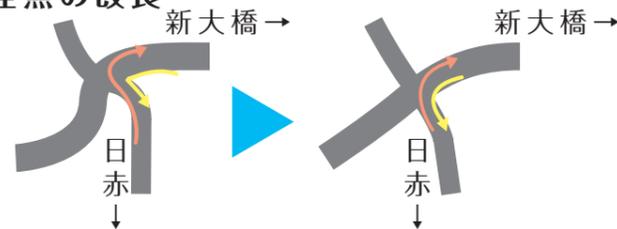


国道431号に歩行者空間をつくります

- 車が安全に通行できるよう、交差点を改良します
- 歩行者の安全と渋滞緩和を目指し、歩道と右折レーンを設置します

曲がりにくい交差点をスムーズに!

1 交差点の改良



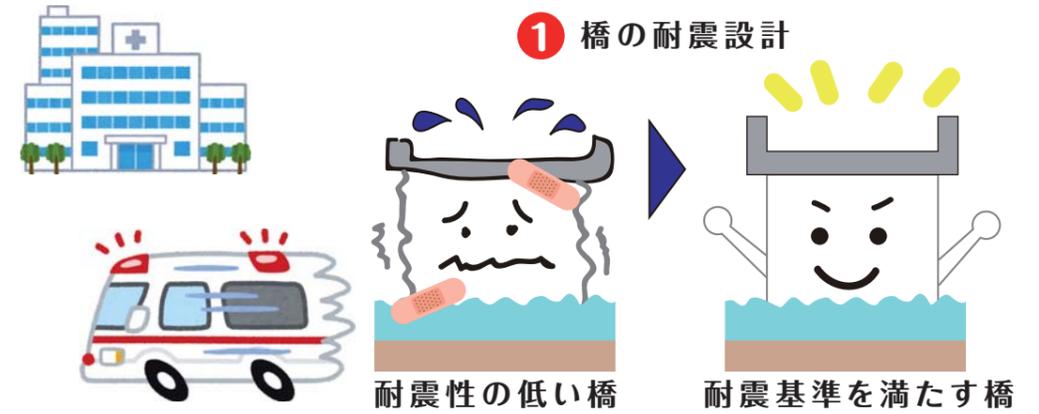
歩行者や車の安全を守ります!



新大橋の架け替えを行います

- 緊急輸送道路であるため、耐震基準を満たす橋へと架け替えます
- 水害に強いまちづくりを目指し、大橋川改修との整合を図ります
- 歩行者と自転車の安全を確保するため、歩道幅を拡げ自転車専用通行帯を設置します

災害時などの緊急輸送道路として活躍します!



2 安全な歩行空間の確保

3 自転車専用通行帯の設置 (歩行者と自転車の分離)

